2023 年度 学校評価実施報告書

2024 年 4 月 25 日

学校法人吉川学園
奈良きもの芸術専門学校

2023 年度の自己点検評価を実施しました。

１．実施目的

学校評価を体制化することで、教育の質の充実・改善を目指すことが目的です。この項における「教育の質」とは授業時間内に限られたものではなく、休み時間等を含めた本校での「学校生活全般」を指します。

２．評価項目の設定

項目の選択にあたっては、社会で活躍する人材を育成するという専門学校の役割を確認することと、変化する環境の中で時代に即したよりよい教育機関であることを目指し、現状の立ち位置を確認する項目を設定した。

３．評価基準の設定

評価は４～１の数値にて表す。
適切…４　ほぼ適切…３　やや不適切…２　不適切・未実施…１。

４．評価結果

評価項目	評価	評価内容
本校は学力（技術）向上を目指して、積極的に取り組んでいるか	4	和裁技能士国家検定(1 級：卒業生)、2 級・3 級とも受験者全員が合格した。
本校は地域の特性を活かすことができているか。	4	正倉院展のお茶席やお寺での着付等、着物の活躍を体験できる行事が多数ある。
本校には他校にない魅力があるか。	4	プロ同様の実習、和文化の学び、地域行事の参加等、他校にない魅力がある。
本校には学生の意見も積極的に取り入れる柔軟性があるか。	4	学生の希望に応じて納涼祭・研修旅行の行先やプランを決定し、実施した。
ソフトウェア科目（茶道・華道・着付け・マナー・スポーツ等）の内容は適切であるか。	4	授業の回数も多く、またそれぞれ師範等、有資格者や適切な教員が指導している。
針供養・お茶会・研修旅行などの学校行事が充実しているか。	4	コロナ禍以前とほぼ同様に各行事を実施できた。
教職員は教え方を工夫し、授業が分かりやすくなるよう努力しているか。	4	普段から学生に合わせた指導を実施しており、個別指導に近い形が好評である。
教職員は生徒が基本的生活習慣や社会のルール・日常生活のマナーを身につけられるよう指導しているか。	4	各教員とも、技術や知識だけでなく一人前の社会人を育成するという意識で指導に当たっている。
学生は専門分野について、幅広い知識を学習しているか。	4	就職先企業から卒業生に対する評価も好評である。
学生は授業に意欲的に取り組んでいるか。	3	全体的に出席率が高く、授業態度も良好であるが、体調不良により欠席が多い学生もいる。
学生の言葉使いは丁寧であるか。	4	教職員や先輩への敬語は徹底されている。

学生は校則やきまりを守っているか。	4	目立ったルール違反はなく良好である。
学生は悩みや困ったことがあったとき、教職員に相談しているか。	4	生活や日常の些細な事まで、必要に応じて相談があり、密な対応ができている。
学生は自主性や主体性を持って行動することができているか。	4	自ら課題を設定し取り組む学生や、試験対策など主体的な取り組みが目立った。
学生は希望の進路を実現しているか。	4	早期から積極的に就職活動に臨んだ学生が多く、6 月には就職希望者全員が内定を得て就職活動を終えていた。
保護者との連携は適切だったか。	4	欠席が続く学生は本人の他、必要に応じて保護者に電話連絡し、連携を取り問題解決に努めた。
学生募集は適切に行えたか。	4	イベント参加者が多く、それに伴い受験者も早期から多く、全体的に非常に募集が安定した一年であった。
自己評価の結果を公開しているか	4	自己評価を行い、現状の把握と問題点の改善に努めている。

５．学校運営への反映

コロナ禍が明け、通常通りの学校運営を行えた一年だった。そのため、地域行事への参加や学校行事等、ほぼ理想的な学校教育が年間を通して実施できた。今後も業界に必要とさせる人材育成のため、学校運営の充実と改善に努めます。